

国立国語研究所学術情報リポジトリ

国立大学・国立高等専門学校における日本語教育の現状

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002813

「日本語教育の内容と方法についての調査研究」資料（４）

国立大学・国立高等専門学校における 日本語教育の現状

（1983年12月1日現在調べによる）

国立国語研究所
日本語教育センター・第二研究室

1985・2





国立国語研究所



1000104305

まえがき

国立国語研究所・日本語教育センターでは国立大学における外国人留学生のための日本語教育を担当している教官に委員を委嘱し、日本語教育研究連絡協議会を昭和55年度から5年間にわたり開催した。本資料は、委員の要望に基づき、国立大学および国立高等専門学校を対象に、日本語教育の現状について調査を行い、その結果をまとめたものである。

具体的には、1) 正規の科目(代替科目)として日本語教育を行っている21大学、2) 補習として日本語教育を行っている23大学、3) 日本語・日本文化研修コース、あるいは教員研修プログラムを行っている19大学、4) 国立高等専門学校 5校、5) 大学進学予備教育機関(東京外国語大学外国語学部附属日本語学校)および 大学院進学予備教育機関(大阪外国語大学留学生別科)、さらに、6) 東京外国語大学特設日本語科、大阪外国語大学大学院外国語学研究科(日本語学専攻)および大阪大学大学院文学研究科(日本学専攻)、計52機関(47大学・5 高等専門学校)73学科部局を対象とした。*

調査方法は、調査用紙を各機関に送り、日本語教育担当の責任者に記入を依頼する形をとった。調査項目は以下(1頁)に示す18項目であり、委員の協力を得て整えたものである。返送された調査用紙は38大学(45学科部局)および高等専門学校 3校のもの計48部である。

調査の結果については、調査項目の記入内容に基づき、各機関・学科部局における日本語教育担当者数・日本語教育関係カリキュラム・日本語教育関係授業受講留学生数の一覧をⅠに示した。調査項目のうち、項目1-12、14-18 については各機関・学科部局別にまとめ、整理番号順に、Ⅱに示した。**(ここでは、1. 留学生総数、2. 日本語教育担当教官、3. 日本語科目受講学生数、4. 施設・設備、5. 今後の整備計画についての希望、6. 作成教材・日本語教育における成果等、7. 日本語教育カリキュラム、8. 日本語教育に関する特徴、にまとめた。) 調査項目13については、全機関の意見をまとめ、Ⅲに示した。

国内における日本語教育の実態調査は、文化庁文化語部国語課が毎年実施しているが、本調査は、国立大学および国立高等専門学校に枠をしぼり、日本語教育の担当教官より直接に教育の現状および問題点とその対策についての情報を得、多様化しつつある外国人留学生の日本語教育の現場に役立つ資料として提供することを目的とした。

なお、日本語教育研究連絡協議会（昭和55-59 年度）の委員は以下の日本語教育担当教官に委嘱した。（五十音順）

鮎沢 孝子 （鹿児島大学 教養部、昭和57-59 年度）
池田摩耶子 （お茶の水女子大学 文教育学部）
石浜 昌広 （宇都宮大学 教養部、昭和56年度）
伊藤 博 （北海道大学 教育学部、昭和55-58 年度）
伊藤 芳照 （東京外国語大学 外国語学部 附属日本語学校、昭和55-58 年度）
内田 茂 （奈良教育大学 教育学部）
大木 隆二 （東京外国語大学 外国語学部 附属日本語学校、昭和59年度）
大友 信一 （岡山大学 文学部、昭和55-56 年度）
奥田 邦男 （広島大学 教育学部）
上尾 龍介 （九州大学 教養部）
川合 淳介 （岡山大学 教養部、昭和57-59 年度）
川嶋 至 （東京工業大学）
草薙 裕 （筑波大学 文芸言語系）
窪田 富男 （東京外国語大学 特設日本語科）
小林 明美 （大阪外国語大学 留学生別科）
志賀 潔 （横浜国立大学 教育学部）
柴谷 方良 （神戸大学 教養部、昭和55-56 年度）
田窪 行則 （神戸大学 教養部、昭和57-59 年度）
玉村 文郎 （京都大学 教養部 〈同志社大学 文学部〉）
原土 洋 （東北大学 教養部、昭和57-59 年度）
松本 泰丈 （千葉大学 教養部）
水谷 修 （名古屋大学 総合言語センター）
宮下 健三 （宇都宮大学 教養部、昭和57-59 年度）
Miller, Marvin （帯広畜産大学 畜産学部、昭和55年度）
村崎 恭子 （北海道大学 言語文化部 日本語系、昭和59年度）
森 巖 （琉球大学 教養部、昭和58-59 年度）
安井 祐一 （琉球大学 教養部、昭和55-57 年度）

* 「昭和57年度国内日本語教育機関の概要報告（昭和57年10月1日現在調べ）」

（文化庁文化部国語課 昭和58年 2月）において対象とされた機関に加え、昭和57年10月以降に日本語教育を開設した国立大学および国立高等専門学校に調査を依頼した。

＊ ＊ 整理番号（1-41）は、機関名の五十音順に各大学・高等専門学校に附した。

目 次

調査項目	1
I. 国立大学・国立高等専門学校日本語教育内容一覧	3
II. 機関別日本語教育内容一覧	
1 秋田大学 教育学部	7
2 宇都宮大学 教養部	9
3 愛媛大学 学生部	11
4 大阪大学大学院 文学研究科 日本学専攻	13
5 大阪外国語大学 留学生別科	15
6-1 岡山大学 教養部	17
6-2 岡山大学 教育学部	19
7 お茶の水女子大学 文教育学部	21
8 帯広畜産大学 学生部	23
9 鹿児島大学 教養部	25
10 九州大学 教養部	27
11-1 京都大学 教養部	29
11-2 京都大学 学生部	31
12 京都教育大学 学生部	33
13 岐阜大学 教育学部	35
14-1 熊本大学 教養部	37
14-2 熊本大学 教育学部 国語科	39
15-1 神戸大学 教養部	41
15-2 神戸大学大学院 教育学研究科	43
16 高知大学 学生部	45
17 静岡大学大学院 教育学研究科	47

18-1	千葉大学 教養部	49
18-2	千葉大学 教育学部	51
19	筑波大学大学院 地域研究研究科・教育研究科	53
20	東京大学大学院 土木工学専門課程	55
21-1	東京外国語大学 特設日本語学科	57
21-2	東京外国語大学 外国語学部 附属日本語学校	59
22	東京工業大学 教務部	61
23	東京商船大学	63
24	東京水産大学 水産学部 教養科	65
25	東北大学 教養部	67
26	豊橋技術科学大学 語学センター	69
27	長崎大学 教育学部	71
28	名古屋大学 総合言語センター 応用言語科学部	73
29	奈良教育大学 学生部	75
30-1	一橋大学 小平分校	77
30-2	一橋大学 学生部	79
31	弘前大学 教育学部	81
32	広島大学 教育学部 教科教育学科	83
33	福島大学 学生部	85
34	北海道大学 言語文化部 日本語系	87
35	宮城教育大学 学生部	89
36	室蘭工業大学 学生部	91
37	横浜国立大学 教育学部	93
38	琉球大学 教養部	95
39	小山工業高等専門学校	97
40	木更津工業高等専門学校	99
41	東京工業高等専門学校	101

Ⅲ. 調査項目13のまとめ	103
---------------	-----

日本語教育の内容と方法についての調査

日本語教育センター

1983年 12月 1日

1. 大学名
日本語教育開設学科部局名
2. 留学生総数および国別内訳 (日本語の授業を受講しない留学生も含めてください。)
3. 日本語教育担当教官名・職名 (専任・兼任・非常勤・本務校への別を記入し、責任者には○印をつけてください。)
4. 3に記入した教官以外の日本語教育担当者 (副金の対象になる場合を含みます。)
5. 日本語教育関係カリキュラム一覧 (補習の欄には正統・代替科目に加えて行っている補習について記入してください。)

日本語教育	正規	補習	開講時間数/週	担当教官名	受講生数	授業内容	媒介語使用の有無	使用設備
授業科目名	単位数		(期間)	(専任・兼任・非)	種類別	国別 (教科書・副教材・視聴覚教材・その他を含む)	使用ならば何語	機器

(以下 6. 7. 8. の項目にも同様の表に記入)

6. 日本事情授業科目一覧
7. 日本語・日本文化研修コース一覧
8. その他 (教員研修留学生プログラム、大学・大学院進学予備教育、補習としてのみ行っている日本語教育等を含む) 一覧
9. 課外活動として行っているものがあれば書きください。
10. 日本語教育のために利用可能な施設・設備として備っているものを○で囲んでください。括弧内の項目にもお願いたします。
- | | | | | | |
|----|-------------------------------|----|------------------------|----|-----------------------|
| 1 | オーディオヘッドプロジェクター | 2 | スライドプロジェクター | 3 | レコードプレイヤー |
| 4 | テープレコーダー (オープン、カセット) | 5 | 映写機 (8ミリ、16ミリ) | 6 | テレビ |
| 7 | ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス) | 8 | ビデオカメラ | 9 | ポータブルビデオ |
| 10 | テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置 | 11 | テレビシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置 | 12 | ビデオ編集装置 |
| 13 | ランダー・ジラボラトリ | 14 | 録音室 | 15 | タイプライター (邦文、英文、その他:) |
| 16 | ワードプロセッサ | 17 | パソコン (マイコン) | 18 | その他 (具体的に書いてください。) |

11. 現在日本語教育関係授業科目を受講している留学生について下記の表に記入してください。

種 別		種 別 (数)	計	国 別 内 訳 (数)	専 攻 別 内 訳 (数)	日本語のレベル
(1) 学部留学生	学部学生					
	学部研究生					
		合 計				
(2) 研究留学生	大学院生					
	大学院研究生					
		合 計				
(3) 日本語・日本文化 コース留学生						
(4) 教育研修留学生						
(5) 進学予備教育						
(6) 聴講生 等						

12. 帰国子女の受入について以下の (1) あるいは (2) を○で囲んでください。 (1) の場合は数を記入し、(3) および (4) にお答えください。

(1) 受入れている。 (数:) (2) 受入れていない。

(3) 帰国子女の日本語教育について次の a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z, aa, ab, ac, ad, ae, af, ag, ah, ai, aj, ak, al, am, an, ao, ap, aq, ar, as, at, au, av, aw, ax, ay, az, ba, bb, bc, bd, be, bf, bg, bh, bi, bj, bk, bl, bm, bn, bo, bp, bq, br, bs, bt, bu, bv, bw, bx, by, bz, ca, cb, cc, cd, ce, cf, cg, ch, ci, cj, ck, cl, cm, cn, co, cp, cq, cr, cs, ct, cu, cv, cw, cx, cy, cz, da, db, dc, dd, de, df, dg, dh, di, dj, dk, dl, dm, dn, do, dp, dq, dr, ds, dt, du, dv, dw, dx, dy, dz, ea, eb, ec, ed, ee, ef, eg, eh, ei, ej, ek, el, em, en, eo, ep, eq, er, es, et, eu, ev, ew, ex, ey, ez, fa, fb, fc, fd, fe, ff, fg, fh, fi, fj, fk, fl, fm, fn, fo, fp, fq, fr, fs, ft, fu, fv, fw, fx, fy, fz, ga, gb, gc, gd, ge, gf, gg, gh, gi, gj, gk, gl, gm, gn, go, gp, gq, gr, gs, gt, gu, gv, gw, gx, gy, gz, ha, hb, hc, hd, he, hf, hg, hh, hi, hj, hk, hl, hm, hn, ho, hp, hq, hr, hs, ht, hu, hv, hw, hx, hy, hz, ia, ib, ic, id, ie, if, ig, ih, ii, ij, ik, il, im, in, io, ip, iq, ir, is, it, iu, iv, iw, ix, iy, iz, ja, jb, jc, jd, je, jf, jg, jh, ji, jj, jk, jl, jm, jn, jo, jp, jq, jr, js, jt, ju, jv, jw, jx, jy, jz, ka, kb, kc, kd, ke, kf, kg, kh, ki, kj, kk, kl, km, kn, ko, kp, kq, kr, ks, kt, ku, kv, kw, kx, ky, kz, la, lb, lc, ld, le, lf, lg, lh, li, lj, lk, ll, lm, ln, lo, lp, lq, lr, ls, lt, lu, lv, lw, lx, ly, lz, ma, mb, mc, md, me, mf, mg, mh, mi, mj, mk, ml, mm, mn, mo, mp, mq, mr, ms, mt, mu, mv, mw, mx, my, mz, na, nb, nc, nd, ne, nf, ng, nh, ni, nj, nk, nl, nm, nn, no, np, nq, nr, ns, nt, nu, nv, nw, nx, ny, nz, oa, ob, oc, od, oe, of, og, oh, oi, oj, ok, ol, om, on, oo, op, oq, or, os, ot, ou, ov, ow, ox, oy, oz, pa, pb, pc, pd, pe, pf, pg, ph, pi, pj, pk, pl, pm, pn, po, pp, pq, pr, ps, pt, pu, pv, pw, px, py, pz, qa, qb, qc, qd, qe, qf, qg, qh, qi, qj, qk, ql, qm, qn, qo, qp, qq, qr, qs, qt, qu, qv, qw, qx, qy, qz, ra, rb, rc, rd, re, rf, rg, rh, ri, rj, rk, rl, rm, rn, ro, rp, rq, rr, rs, rt, ru, rv, rw, rx, ry, rz, sa, sb, sc, sd, se, sf, sg, sh, si, sj, sk, sl, sm, sn, so, sp, sq, sr, ss, st, su, sv, sw, sx, sy, sz, ta, tb, tc, td, te, tf, tg, th, ti, tj, tk, tl, tm, tn, to, tp, tq, tr, ts, tt, tu, tv, tw, tx, ty, tz, ua, ub, uc, ud, ue, uf, ug, uh, ui, uj, uk, ul, um, un, uo, up, uq, ur, us, ut, uu, uv, uw, ux, uy, uz, va, vb, vc, vd, ve, vf, vg, vh, vi, vj, vk, vl, vm, vn, vo, vp, vq, vr, vs, vt, vu, vv, vw, vx, vy, vz, wa, wb, wc, wd, we, wf, wg, wh, wi, wj, wk, wl, wm, wn, wo, wp, wq, wr, ws, wt, wu, wv, ww, wx, wy, wz, xa, xb, xc, xd, xe, xf, xg, xh, xi, xj, xk, xl, xm, xn, xo, xp, xq, xr, xs, xt, xu, xv, xw, xx, xy, xz, ya, yb, yc, yd, ye, yf, yg, yh, yi, yj, yk, yl, ym, yn, yo, yp, yq, yr, ys, yt, yu, yv, yw, yx, yy, yz, za, zb, zc, zd, ze, zf, zg, zh, zi, zj, zk, zl, zm, zn, zo, zp, zq, zr, zs, zt, zu, zv, zw, zx, zy, zz

a 特に日本語教育は行っていない。

b 留学生とは別の日本語教育を行っている。

c 現在は特別に日本語教育を行っていないが、帰国子女のための日本語教育が必要であると思われる。

(4) 帰国子女の日本語教育についてご意見があればお書きください。

13. 以下の点につきお答えしない程度にお答えください。 (13 については調査のまゝに大学名を出しません。)

(1) 日本語教育に關して、現状の抱える問題点 (とその対策)。 (2) 日本語教育に關して、将来に予測される問題点 (とその対策)。

(3) 日本語教育担当教員と大学における他部局・本部との関係 (関心の有無、協力の有無等)。

14. これからの日本語教育に対する整備計画についてのご希望についてお聞かせください。

(1) 人員要求について。

(2) 将来計画 (教育内容、その他) について。

15. 貴機関の日本語教育に關する特徴をお聞かせください。

16. 日本語教育の成果はどこに発表されますか。学会・学術誌名などをお書きください。

17. 留学生の日本語教育成果はどのような形で発表してこられましたか。

18. 長時間にわたり調査にご協力下さり有難うございました。最後に貴機関で作成された教材、これから作成予定のものがあればお差しつかえのないかぎりお教えください。

(1) 作成した教材

(2) 作成予定の教材

Ⅰ. 国立大学・国立高等専門学校日本語教育内容一覧

整理番号	機関名 学科部局名	教育担当者			
		専任 (a)	兼任 (b)	非常勤 (c)	その他 (d)
1	秋田大学 教育学部		/	3	
2	宇都宮大学 教養部			/	
3	愛媛大学 学生部			2	4
4	大阪大学大学院 文学研究科日本学専攻	7		2	
5	大阪外国語大学 留学生別科	15	5	54	
6-1	岡山大学 教養部	/		2	
6-2	岡山大学 教育学部		13	2	
7	お茶の水女子大学 文教育学部	/		/	/
8	帯広畜産大学 学生部			/	/
9	鹿児島大学 教養部	/		4	
10	九州大学 教養部	/	/	2	
11-1	京都大学 教養部			/	
11-2	京都大学 学生部			11	
12	京都教育大学 学生部			/	
13	岐阜大学 教育学部		2		13
14-1	熊本大学 教養部	2	/		
14-2	熊本大学 教育学部国語科		4		
15-1	神戸大学 教養部	/		3	
15-2	神戸大学大学院 教育学研究科			/	2
16	高知大学 学生部		/		2
17	静岡大学大学院 教育学研究科			2	
18-1	千葉大学 教養部	2		/	
18-2	千葉大学 教育学部			/	
19	筑波大学大学院 地域研究研究科・教育研究科	4	2	4	2
20	東京大学大学院 土木工学専門課程			6	
21-1	東京外国語大学 特設日本語学科	8		2	
21-2	東京外国語大学 外国語学部附属日本語学校	14		3	/
22	東京工業大学 教務部			2	
23	東京商船大学		5		
24	東京水産大学 教養科	/			/
25	東北大学 教養部	/		/	/
26	豊橋技術科学大学 語学センター				/
27	長崎大学 教育学部				4
28	名古屋大学 総合言語センター応用言語科学部	3		15	
29	奈良教育大学 学生部		3	/	
30-1	一橋大学 小平分校		2		
30-2	一橋大学 学生部			4	3

日本語教育関係カリキュラム						日本語教育関係授業授講留学生数						総留学生数
日 本 語		日本事情	日本語・ 日本文化	教員研修	予備教育	学部	研究	日研	教員	予備	聴講	
正 規	補 講					(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
	○					23	4					27
○		○				4						18
	○	○		○		8			8			22
○							14					14
		○		○	○		122		19		4	145
○	○	○		○		5	12		8		2	76
○		○	○	○				2	15			18
○		○				25	31					56
	○						6				2	28
○	○	○				3	7					71
○	○	○				4	79					264
○						29						51(57)
	○		○				77	9				374
	○					3						4
				○					4			12
○		○	○			7		2				45
	○		○								1	
○						12	16		4		2	752
				○					8			9
	○						5				4	13
			○	○				1	7		1	42
○		○				12						12
				○			1		8		6	(15)
○	○			○			145	2	8		2	420
	○						25					41
○	○					59	19	2	2		1	165
		○	○		○			19		38		57
	○						98					269
○		○				0						7
○	○	○				7	1					46
○	○	○				21	28		6		6	195
	○					1	21					22
	○			○					4			4
	○		○	○	○		42	13	6		6	205
	○			○		14			4			18
○		○				8						8
	○						45					71

整理番号	機関名 学科部局名	教 育 担 当 者			
		専 任	兼 任	非 常 勤	そ の 他
		(a)	(b)	(c)	(d)
31	弘前大学 教育学部		4		7
32	広島大学 教育学部教科教育学科	3	3	6	2
33	福島大学 学生部		1		
34	北海道大学 言語文化部日本語系	1		7	5
35	宮城教育大学 学生部		8		2
36	室蘭工業大学 学生部		2		
37	横浜国立大学 教育学部	1		1	4
38	琉球大学 教養部		2	3	
39	小山工業高等専門学校		3		3
40	木更津工業高等専門学校		1		
41	東京工業高等専門学校			1	

日本語教育関係カリキュラム						日本語教育関係授業授講留学生数						総留学生数
日 本 語		日本事情	日本語・ 日本文化	教員研修	予備教育	学部	研究	日研	教員	予備	聴講	
正 規	補 講					(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
○			○	○				2	4		2	17
○		○	○	○		5	64	1	18			180
	○										2	2
○	○		○				9	9			1	149
	○										4	4
	○					6	3					9
○	○	○		○		15	4		17		2	115
○		○				15	6				17	38
○		○				2						2
	○					2						2
○						2						2

II. 機関別日本語教育内容一覧

1 秋田大学 教育学部

1. 留学生総数: 27 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 1 人 ()
 (b) 兼任 1 人 (宮内 保)
 (c) 非常勤 0 人 ()
 (d) その他 ()

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 23 人 (台湾 14, 中国 7, スリランカ 1, ブラジル 1)
 (2) 研究留学生 4 (中国 4)
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女 —

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ		タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (V, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任最低2名の定員化
- ・外国語学部設置が必要。少しでも外国語学科の中に日本語研究室を置き、日本事情・日本文化の教授が可能な体制を整えるべきである。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数: 18 人 (院生 3人を含む)

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 /

(d) その他 /

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 4 人 (中国 3, 台湾 1)

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女 —

4. 施設・設備

0	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
0	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
0	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
0	テープレコーダー (オー・アン・カセット)		ランゲージラボラトリー
0	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
0	テレビ	0	タイプライター (邦文, 英文)
0	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)	0	ワードプロセッサ
	ビデオカメラ	0	パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)	日本語	4or8	100分 ×36週	(c)	4	読解 - 『Integrated Spoken Japanese Vol. I, II』 (45分) 『Japanese for Today』 『日本語表現文型 中級 I, II』 『日本人の一生』『日本の地理』『日本 の放送』 朝日新聞記事 口頭練習 - 『Integrated Spoken Japanese』 (25分) 朝日新聞記事 応用短文作成、討論 作文にふたつ発表・添削例の 説明・訂正 作文 - 読解資料及び聴解資料に基づく (10分) 毎週 700~1,400字で自宅において作文 作文・レポートの書き方指導 聴解 - 『Introduction to Modern Japanese』 (20分) VTR、NHK教育テレビ番組 (日本古典芸能入門・筑波学園都市シ リーズ・銀河テレビ小説・明るい農村) 内容チェック・語彙及び場面・文化的背 景の説明・討論 *教室内では討論を中心に行っている。時間数 の関係で自宅学習が多い。		
* 2年間で8単位、但し 1年間で4単位でも 取得単位として認め られる。								
(1)	日本の自然	2or4	100分 ×15週	(d)	4	堀田満『日本列島の植物』(保育社) その他気象関係の書物から四季の気象の紹介 天気図の作成等を行う。		

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数 : 22 人

2. 日本語教育担当教官 :

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 2

(d) その他 4

3. 日本語科目授課学生数 :

(1) 学部留学生 8 人 (中国 6、ブラジル 1、インド 1)

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 8 (韓国 4、インドネシア 2、タイ 2)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女 —

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・アン、カセット)		ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文、英文)
○	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ (近日中)
○	ビデオカメラ	○	パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・教官増が望ましいが、留学生が増えることが先決問題。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・『日本紹介』(海外技術者研修協会)のスライドレターによる視聴覚教材。
- ・スライド——(1) 松山における留学生生活、会話用 (2) ひらがな、カタカナ、漢字。
- ・理科系学生のための構文と語彙に関するものを作成予定。
- ・成果の発表——日本語教育学会、留学生生活やロータークラブ、ライオンズクラブ、愛媛大学留学生協力事業会等主催の集まりでスピーチの機会が多い。「愛媛大学ガイドブック」や「学生部ゼネラル」にも最近では日本語で書くようになった。

7 日本語教育カリキュラム

履修学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(4)	初級日本語(前期)	0	8	(c)	4	『日本語の基礎Ⅰ.Ⅱ』	(一部)英語	テアレコーダー
	文字	0	2	〃	〃	『日本語の入門』『日本語漢字入門』 自作スライド		スライド・プロジェクタ
	発音	0	2	〃	〃	『日本語はつむぎ』		
	聴解	0	2	〃	〃	『よみかた』(学会)『Intensive Course in Japanese』		テアレコーダー
			(10~28)			日本語教育映画		16mm映写機
〃	初級日本語(後期)	0	6	(c)	〃	『日本紹介』『An Introduction to Modern Japanese』		テアレコーダー
		0	2	〃	〃	『Basic Japanese』(大阪外大)		スライド・プロジェクタ
		0	2	〃	〃	小・中学校 理科・社会教科書		
〃	日本生活案内		2	〃	〃	主として見学	英語	
	日本文化	補	2x8	(d)	〃			
	〃	〃	〃	〃	〃	各教官の専門に応じた文化講義と見学	英語	
	〃	〃	〃	〃	〃			
	〃	〃	〃	〃	〃			
(1)(4)	初級日本語	補	8	(c)	4	『正しい日本語』	(一部)英語	
	初・中級日本語	〃	4	〃	7	『Japanese for Today』小・中・高社会科学習事典		テープ(自写)
	〃 (文法)	〃	2	〃	4	『日本語表現文型 中級Ⅰ.Ⅱ』		
	中級日本語	〃	3	〃	5	『Basic Japanese-A Review Text』		テープ(自写)
	〃 (聴解)	〃	約1	〃	〃	『日本の地理』『日本の放送』日本語教育ビデオシリーズ		テアレコーダー・ビデオ
	上級日本語	〃	2	〃	5	『Integrated Spoken Japanese Vol.Ⅰ.Ⅱ』		テープ(自写)
	〃	〃	2	〃	4	『A White Collar Worker's Day』		テアレコーダー
	〃 (聴解)	〃	不定	〃	1	ビデオ・テープ(英語版)		ビデオ

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・受入当初は日常生活に適応するための日本語、7112・専門科目に対応できる読解力が要求される。周囲が方言やa2・passive vocabularyとして最低限の文法知識も必要。

1. 留学生総数: 14 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 7 人 (徳川 宗賢・真田 信治・宇安 宣邦・小松 和彦・矢守 一彦・高橋 正生・越 直樹)
 (b) 兼任 ()
 (c) 非常勤 2
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 人 ()
 (2) 研究留学生 14 (台湾 5, フランス 2, タイ 2, エジプト 1, カタール 1, 中国 1, インド 1, 韓国 1)
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学予備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター	○	テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーアン, カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ		タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・対照言語学の講座の設置を要求。

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

- ・作成教材, 特になし。
- ・『日本語教育』, 『日本学報』(大阪大学)に発表。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・日本語研究室は、日本文学、比較文化学、社会言語学の三講座からなる大学院独立専攻の研究室であり、日本学という広い範囲をカバーする分野で、主として日本文化と日本語を対象として研究している。

1. 留学生総数: 145人

2. 日本語教育担当教官: (吉田 彌壽夫・田中章夫・氏原 寛・倉谷 直臣・小林 明美・山口幸二・生森 将人)
 (a) 専任 15人 {大倉 美和子・奥西 峻介・山本 進・小矢野 哲男・熊 正佳・大野 敦子・野田 尚史・成田 徹男}
 (b) 兼任 5 (浅井 敬一・太田 妙子・藪 司郎・東 明彦・大木 充)
 (c) 非常勤 54
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生	人	インドネシア 12, ブラジル 7, ビルマ 6, フィリピン 6, アメリカ 6, フランス 5, イラン 5, インド 4, スペイン 4, タイ 4, パンダラシ 3, バルバド 3, チリ 3, イスラエル 3, マレーシア 3, メキシコ 3, トルコ 3, イギリス 3, オーストラリア 2, カナダ 2, チェコスロバキア 2, エジプト 2, パキスタン 2, ポーランド 2, ユーゴスラビア 2
(2) 研究留学生	122	オーストラリア 1, コロンビア 1, コスタリカ 1, キューバ 1, デンマーク 1, フィンランド 1, ギリシア 1, グアテマラ 1, ホンジュラス 1, ホンコン 1, ハンガリー 1, オランダ 1, ノルウェー 1, パプア 1, パラグアイ 1, パルー 1, セネガル 1, スリランカ 1, スーダン 1, シリア 1, チェンジア 1, ハンズ 1, パナマ 1, 西ドイツ 1, ガンビア 1
(3) 日本語・日本文化コース留学生		
(4) 教員研修留学生	19	(タイ 10, フィリピン 4, 韓国 2, メキシコ 2, マレーシア 1)
(5) 進学準備教育留学生		
(6) 聴講生		
(7) 帰国子女		

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・理学生定員219名にふさわしい専任・非常勤の確保。事務職員を増加も希望。
- ・教材の整備 教室等設備の充実 教員の質の向上。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・「基本文型」, 「漢字(1)」, 「読みの練習」, 「漢字練習帳」, 「文型練習帳」, 「First Step to Kanji part 1, 2」, 「Second Step to Kanji part 1」, 「Vocabulary and Composition」, 「あたらしい日本語」, 「中級日本語」, 「聴解練習資料Ⅰ」
- ・「大阪外国語大学学報」, 「日本語・日本文化」(留学生別科紀要)「日本語教育」等に発表。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(2,4)	<基本科目>							
	日本語 初級	18		成田・小林・生森 角道・奥西・山口 倉谷・山本・大倉 野田・東・小矢野 (C)		文型 (12時間) 漢字 (2) 読解 (4)		
	" 初中級	16		小矢野・田中・(C)		文型 (12) 読解 (4)		
	" 中級	16		矢野・成田・大原 田中・(C)		文型 (10) 作文 (2) 読解 (4)		
	" 上級	12		吉田・山本・(C)		文法 (4) 作文 (2) 読解 (4) 会話 (2)		
	<応用科目>							
	日本語 初級	8~		大倉・野田・(C)		会話・聴解・作文・漢字・読解 日本文化・専門読解		
	" 初中級	10~		(C)				
	" 中級	10~		大原・田中・山口 奥西・浅井・(C)				
	" 上級	14~		奥西・田中・(C)				
						※ 但し各コースとも日本事情を 必修選択科目とする。 ※ 初中級は漢字を必修選択科目 とする。		
	日本事情	2		倉谷・矢野・東			英語のみ 日・英語 日・西語	

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・国費大学院研究生を対象とする 6月(15週)の短期集中講座。ほとんど全員が初心者。
学習者の目標が多様であることから到達目標も多様。

1. 留学生総数: 76 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 (川合 淳介)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 2

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 5 人 (中国 5)

(2) 研究留学生 12 (台湾 5, アルゼンチン 2, ブラジル 1, 韓国 1, ユゴスラビア 1, インド 1, インドネシア 1)

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 8 (タイ 2, ビルマ 2, インドネシア 2, メキシコ 1, フィリピン 1)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 2 (オーストラリア 2)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・ア・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ		タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

・スタッフの増員 (学生数は少ないが、レベルの差に応ずるため、あるいは教官同士の協力のため)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

特にこれ

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)	日本語Ⅰ	6	3	川合	2	自作プリント・新聞・テープ・ビデオ・常用漢字表	—	VTR ヘッドセット
	〃Ⅱ	2	1	川合	3	(近)現代日本文学講読	—	
(2)	日本語初級	補	2	(C)	4	『An Introduction to Modern Japanese』 『やさし入門』	—	
	〃中級	補	2	(C)	10	『日本語Ⅱ』	—	
(4)	日本語	補	2	川合	8	『日本語初歩』『日本人の一生』(日本人の一生)	—	
(1)	日本事情	4	1	川合		『日本の放送』(日本事情ニュース)『日本人と日本文化』(中公新書)新聞他		テープ
				(1コマ=100分、年3回)				

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・教育学部と教養部と二系統に分かれているという組織的な問題点が特徴的か。

1. 留学生総数: 18 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 1人 (飯味明克・森能男・山内峰行・江見貴・大橋泰勝・松畑照一・福永信哲・山口茂喜)
 (b) 兼任 13 (細田和雄・近藤 勲・高橋達郎・辻 幸男・川合 浩介)
 (c) 非常勤 2
 (d) その他

3. 日本語科目授講学生数:

- (1) 学部留学生 1人
 (2) 研究留学生
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 2 (オーストラリア2)
 (4) 教員研修留学生 15 (タイ 5・フィリピン 3・メキシコ 3・インドネシア 2・ビルマ 2)
 (5) 進学準備教育留学生
 (6) 聴講生
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター	○	テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレビネ装置=映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー(オープン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機(8ミリ・16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター(邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー(U・VHS・ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	○	パソコン(マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・日本語教育担当専任技官の必要
- ・留学生用の施設・図書・機器の拡充

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・日本語テスト(初級)を作成。同・中級を作成予定。
- ・教員研修留学生向け日本語教育研究会開催(才1回-8.57.3, 才2回-8.58.3)
- 「アセアン等教員研修留学生の日本語習得における諸問題」(『岡山大学教育学部研究集録』60号, 1982)

7. 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・オーストラリア・キャンベラ高等教育大学の日本語教育を応援(教授互換)。そのため本学部には日本語教育経験者が多く(現在7名)、その経験を活用している。

1. 留学生総数: 56人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1人 (池田 隆耶子)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1

(d) その他 1

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 25人 (台湾3 フラミール1)

(2) 研究留学生 31 (韓国14, 台湾8, 米国5, 英国1, 香港1, スイス1, フィリピン1)

(3) 日本語・文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置=映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン、カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ、16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文、英文)
	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

大学院修士課程新設計画により (助)教授1, 助手19人員増と第一段階として要求。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・録音したVTR程度、系統的に集めているわけではない。(教官一人では特別な教材作成は無理)
- ・大学院レベルの読み教材の標準的なものを作成したい。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- 日本語教育担当教官か、全学的な留学生担当教官を兼ねている。
- 日本語教育の責任者か、留学生の学務、生活面から本人に関与しあつて相談、指導に及ぶ役割を担うのか、留学生の特殊な問題まで掌握できる。

1. 留学生総数: 28 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1

(d) その他 2

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 6 (フィリピン3, 西ドイツ1, スリランカ1, 韓国1)

(3) 日本語・日文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 2 (スリランカ1, 韓国1)

(7) 帰国子女 —

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー(オープン, カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機(8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター(邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー(V, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン(マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任教員の配置
- ・正規課程カリキュラムへの組入れ

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

- ・作成教材, 特にRFL.
- ・外国人による日本語弁論大会等に出場.

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・10月来日へ大学間交流に於ける外国人留学生に焦点を合わせ、短期間＝集中的＝開設。

1. 留学生総数: 71 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 (鮎澤 孝子)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 3 人 (中国 2, 台湾 1)

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女 -

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
0	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
0	テープレコーダー (ステレオ・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
0	テレビ	0	タイプライター (邦文・英文)
0	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・ボランティアの学生をパートタイマーの助手として確保すること。
- ・研究留学生のための日本語授業の正規化
- ・作文の添削・漢字教育のためにワープロを使用した教授法を考えた。
- ・日本語教師養成講座の開設。(できれば、現在ボランティアの学生対象にインフォーマルな形で実行)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・日常必要な語彙・文型をとり入れた鹿児島生用の簡単なテキスト、専門用語(漢字熟語)・辞書のひき方・専門文献読解のための説明・手引書を作成予定。
- ・これまでに留学生は地方紙に作文を発表(「南日本新聞・留学生日語」)。作文集など出した。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 ／週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)	日本語Ⅰ	1	Z	鮎澤	3	作文及び小論文などの読解	—	
"	"Ⅱ	"	"	"	"	発音・会話・聴解練習	—	テープレコーダ
		(前期)	(15週)					
"	日本語Ⅲ	1	Z	鮎澤	3	作文及び評論などの読解	—	
"	"Ⅳ	"	"	"	"	スピーチ、口答発表の練習	—	テープレコーダ
		(後期)	(15週)					
"	日本事情A	Z	Z	(c)	3	日本史概説・歴史上の人物	—	
"	"B	"	"	"	"	日本の近代文学・文学史	—	
		(後期)	(15週)					
"	日本事情C	Z	Z	(c)	3	戦後の日本の政治体制	—	
"	"D	"	"	"	"	現代日本の思想と文化	—	
		(前期)	(15週)					
(2)	日本語初級補	Z	Z	鮎澤	7	An Introduction to Modern Japanese (英)英語		
"	"中級	"	Z	"	7	" (後)"		
		(25週)						

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・学部学生は大学生レベルの日本語が書けること、話せることを目標に個人指導を行っている。
・ボランティア活動として、大学4年生2人が、レベル差の多い大学1年生を対象に個別指導(週3回、各2時間ほど)。国連大学委託学生1年は個人教授を受け、謝金が支払われている。

1. 留学生総数 : 264 人

2. 日本語教育担当教官 :

(a) 専任 / 人 (上尾 龍介)

(b) 兼任 / (立花 均)

(c) 非常勤 2

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数 :

(1) 学部留学生 4 人 (中国 3, 台湾 1)

(2) 研究留学生 79 (中国 27, 台湾 10, 韓国 8, インドネシア 7, ブラジル 6, ザンザール 3, タイ 3, ビルマ 2, バングラデシュ 2, タンザニア 1, イラク 1, ペル 1, パキ 1, ドミニカ 1)

(3) 日本語・日本文化 コース留学生 (インド 1, アメリカ 1, イラン 1, ノルウェー 1, エジプト 1, コロンビア 1)

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

9	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
9	テープレコーダー (オーブン・カセット)	0	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
9	テレビ		タイプライター (邦文, 英文)
	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサー
0	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・現在の専任1名では、研究留学生に手ご手がまわらない。あと2名の非常勤講師が必要。
- ・学生のための日本語授業の充実。できれば、上級修了者には日本語を講じられるよう教官を揃えたい。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・「日本語の発音と文法」「日本語文法」文法練習問題、「天声人語」の文法事項練習問題、熟語表などを作成、教養課程レベルの学生のための読本を作成中。
- ・言語関係の総合研究の成果報告書をS.56に発表。「留学生たちの日本」(留学生教育全般にわたって書いたもの)をS.54.3.出版予定。他、学内の紀要に発表。
- ・留学生は「KUIFA」(九大国際親善会の機関紙)に文章を掲載。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
	<日本語>							
(1) 1年	読本	1	1	上 尾	4	プリント	—	
〃	文章表現演習	〃	〃	〃	〃	留学生作文の誤用例カード	—	
〃	文 法	〃	〃	(c)	〃	プリント	—	
2年	文章表現演習	〃	〃	上 尾	10	誤用例カード	—	
〃	文法中心の講読	〃	〃	(c)	〃	プリント	—	
	(以上 4~9月、1回・90分)							
1年	読本	1	1	上 尾	4	プリント	—	
〃	文章表現演習	〃	〃	〃	〃	誤用例カード	—	
〃	文法中心の講読	〃	〃	(c)	〃	プリント	—	
	(以上 10~3月)							
	<日本事情>							
(1) 1年	一般日本事情(前期)	2	1	(a)	4	プリント	—	
〃	〃 (後期)	〃	〃	〃	〃	〃	—	
2年	〃 (前期)	〃	〃	〃	10	〃	—	
1年	日本の歴史と文化(前)	〃	〃	(b)	4	日本近代史ノートおよびプリント	—	
〃	〃 (後)	〃	〃	〃	〃	〃	—	
2年	〃 (前)	〃	〃	〃	10	〃	—	
1年	日本の政治経済(前)	〃	〃	(c)	4	プリント	—	
〃	〃 (後)	〃	〃	〃	〃	〃	—	
2年	〃 (前)	〃	〃	〃	10	〃	—	
(2)	日本語補講(初級)	補	1	(c)		『正しい日本語』	教科書の 変換	
〃	〃 (中級)	〃	〃	〃		『正しい日本語』、練習用プリント	〃	
〃	〃 (上級)	〃	〃	〃		『天竺人語』(英訳付)	—	
	(以上、通年)							

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・専門課程の1-4がとれ、卒論が書けるまで、作文力の養成に力点を置いている。

1. 留学生総数: 51 人 (但し学部)

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 人 ()
 (b) 兼任 ()
 (c) 非常勤 /
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 29 人 (韓国6・中国5・タイ4・香港3・フィリピン3・台湾2・タイ2・シンガポール1・ネパール1・フランス1・アメリカ1)
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女 18 ... 現在では特に日本語教育を行っていないが、留学生と別々の補講が必要であろう。

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレビネ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー(オープン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機(8ミリ・16ミリ)		録音室
	テレビ		タイプライター(邦文・英文)
	ビデオテープレコーダー(U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン(マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

・「日本語学」・「日本語教育」・「言語生活」などに発表。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・他機関において約1年の予備教育を受けてきたアジアの学生が対象である。
- ・全学部の留学生、一括一クラスの授業である。

1. 留学生総数: 374 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 11

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 77 (中国14, アメリカ10, タイ9, フランス6, 韓国5, イギリス4, ビルマ4, 西ドイツ4, インドネシア3, 香港2, ベルギー2, メキシコ2, インド2, コロンビア2, 台湾2, フィリピン1, アンタン1, ポリネシア1, ニュージーランド1, ジェット1, イラン1)

(3) 日本語・日本文化コース留学生 9 (中国2, 香港2, 韓国1, タイ1, フィリピン1, アメリカ1, アルゼンチン1)

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 道庁予備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女 16 ... 特に日本語教育を行っていない。

4. 施設・設備

0	オーバーヘッドプロジェクター	テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
0	スライドプロジェクター	テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー	ビデオ編集装置
0	テープレコーダー (オー・アン・カセット)	ランゲージラボラトリー
0	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	録音室
	テレビ	0 タイプライター (邦文, 英文)
0	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)	ワードプロセッサ
	ビデオカメラ	パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ	

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任3名, 非常勤10名要望
- ・研究者に必要な専門別日本語教育の開発

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

科長学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(3)	日本語	2	(c)	9	「日本語表現法」を必要部分コピー。 作文の添削、課用例の解説。	英語		
〃	日本語	2	〃	〃	「大衆人語」他、日本語の特徴・表現に関するもの。 精読 - 重点は語法・語彙・慣用表現・文語的表現、表記など。	英語 中国語		
〃	日本語	2	〃	〃	口頭表現 - ラジオドラマなどの聞き取り・問答。 読解 - 戦後の小説、日本人思考・感情表現の特徴を理解し、語彙を身に付ける。			
〃	日本語強化コースⅠ	2 (10~3月)	〃	〃	「Basic Japanese-A Review Text」 「Intensive Course in Japanese, Intermediate」 「An Introduction to Modern Japanese」 「Aural Comprehension Practice in Japanese」 「AKP 日本語 TEXT」 「Japanese for Today」(Reading Part.)		テレビ・ビデオ	
〃	日本語強化コースⅡ	2 (10~3月)	〃	〃	「Intensive Course in Japanese, Intermediate」 新聞・労務ブックレット、文学作品、随筆など精読。		テレビ・ビデオ	
(2)	日本語 補	2	〃	18	講読 - 新聞・雑誌等の理系分野コラム。 語彙・語法を中心に説明、論説文のスタイルを重視して講義。開始時期に日中漢字音の対照など。 概説より講義を行う。	英語 中国語		
〃	日本語	〃	〃	〃	20 「Japanese for Beginners」	英語		
〃	日本語	〃	〃	〃	19 「あたらしい日本語」自作プリント	英語		
〃	日本語	〃	〃	〃	20 新聞等。			

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

。専門教育と並行に行われているので、学生のフラストレーションが少なく、研究活動に必要な日本語教育が適切に与えられる可能性があり。

1. 留学生総数 : 4 人

2. 日本語教育担当教官 :

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数 :

(1) 学部留学生 3 人 (台湾 3)

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
Q	テープレコーダー (オーブン・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
	テレビ		タイプライター (邦文、英文)
	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数: 12 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 ()

(b) 兼任 2 (藤掛 庄市・工藤 カ男)

(c) 非常勤

(d) その他 13

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 1 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 4 (韓国 2, タイ 1, ビルマ 1)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS, ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	○	パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任教官がほしいが、とりあえず授業のコーディネーターとしての事務官(非常勤)を要求。
- ・留学生の控室、教室、教材作成室の確保(余裕が出たら)。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・①形態詞用チャートブック②動詞用チャートブック③同テキスト④インフォメーション⑤カードゲーム、他ビデオ教材、ワードプロセッサ教材、CAI教材を作成。又①～④の録画を作成中。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・入門クラスでは独自に開発した教材を使用。
- ・多くのボランティアの協力によって成り立っていること。
- ・教室の内外で日本人と接触する機会を多くしていること。
- ・課外活動 - 料理教室、陶芸教室、スキー教室、他。

1. 留学生総数: 45 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 2人 (西川 盛雄・岩松 久雄)
 (b) 兼任 1 (佐田 智明)
 (c) 非常勤
 (d) その他

3. 日本語科目授講学生数:

- (1) 学部留学生 7人 (中国3, 台湾1, 韓国1, フィリピン1, インドネシア1)
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 2 (アメリカ1, オーストラリア1)
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女 昭和59年度から受入れ予定

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- 来年度より日本語日本事情の専任が1人着任予定。
- 現在国に概算要求を出している留学生会館の早期建設を希望。現行のカリキュラムに加えて医療事情、歴史、文学、民俗学等を充実させること、多角的なスタッフとテーマによる教育内容を予定。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- 各教官の自作教材・プリントは資料としてファイルにある。
- 留学生は、夏休み前に「留学生による日本語発表会」を行い、学年末に「留学生日本語報告集」を刊行。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)	日本語Ⅰ	2	2	佐田	7	プリント、中学国語教材使用 音声・表記・敬語・文法		
(1)	日本語Ⅱ	2	2	岩松 西川	7	プリント、中学・高校の国語教材、『日本語Ⅱ』 音声と解釈、日本文化、作文、読解教 材にもとづいて会話。		
(1) 2年	日本の事情	4	2					
(1) 3年	日本の科学技術	4	2					
					*	(3) の学生は日本語Ⅰ、Ⅱを聴講		

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数: / 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 人 ()
 (b) 兼任 4 (佐田 智明・中本 環・中村 青史・森山 秀吉)
 (c) 非常勤
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 人 ()
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語^{国際化}コース留学生 / (オーストラリア)
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

オーバーヘッドプロジェクター	テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
スライドプロジェクター	テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
レコードプレイヤー	ビデオ編集装置
テープレコーダー(オープン・カセット)	ランゲージラボラトリー
映写機(8ミリ・16ミリ)	録音室
テレビ	タイプライター(邦文・英文)
ビデオテープレコーダー(V・VHS・ベータマックス)	ワードプロセッサ
ビデオカメラ	パソコン(マイコン)
ポータブルビデオ	

5. 今後の整備計画についての希望

- ・留学生の単位取得のために特別のカリキュラムの設定が必要。そのためには専任の配置も。
 現状では聴講生以外受け入れられない。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・国語学会・熊本大学教育学部国文学会(「研究と教育」)で発表。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・ニューカッスル大から毎年1名(1年)国費聴講生を迎えている。指導は国語科2・3行方。日本語教育のための特別カリキュラムはあらず。既設の講義を聴かせる。個人指導に力を入れ、聴講の効果を高めるようにしている。
- ・ホームステイ、夏休みの補習、研修旅行などを実施。

1. 留学生総数: 152 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 (田 登 行 則)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 3

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 12 人 (中国 5, 韓国 2, タイ 1, ブラジル 1, イラン 1, 台湾 1, アメリカ 1)

(2) 研究留学生 16 (中国 4, 台湾 2, 韓国 2, タイ 2, チリ 1, インドネシア 1, ペルー 1, ニュージーランド 1, ブラジル 1, シンガポール 1)

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 4 (タイ 2, シンガポール 1, インドネシア 1)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 2 (フランス 2)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ		タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ	その他	紙芝居

5. 今後の整備計画についての希望

- ・現在、増員を要求中。助手・教務補佐員等も欲しい。
- ・Computer Aided Instruction (CAI) による初級教育を充実中。
- ・中・上級の単語別教材, CAI教材を作成してほしい。

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

- ・韓国人のEメール作文教材 (中・上級) を作成中。中国人のEメール作文教材 (上級), マイコンによる初級教材 (CAI) を作成の予定。
- ・成果は、「日本語日本文化」(大阪外大留別) 韓国言語学会誌, 「日本学誌」(韓国啓明大学) 「朝鮮学報」等に発表。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に關する特徴、課外活動等。

- ・専門教育と併行して行っているので、体系的な教育はできていない。
- ・国語が多様なので、母語別教材は作りにくい。韓国語・中国語・英語の教材は一応できており成功している。

1. 留学生総数: 9 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 1 人 ()
 (b) 兼任 ()
 (c) 非常勤 1 ()
 (d) その他 2 ()

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 1 人 ()
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 8 (タイ4、シンガポール1、インドネシア1、マレーシア1、メキシコ1)
 (5) 道立大学教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女 ()

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
	テレビ	○	タイプライター (邦文、英文)
	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任教員が必要

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・入学時に専門教育の指導教官を決定しているので、日本語教育以外にも何かと指導を受けられる。

1. 留学生総数 : 13 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 1 (関根良弘)

(c) 非常勤

(d) その他 2

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 5 (チリ 2, メキシコ 1, インド 1, アメリカ 1)

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 4 (オーストラリア 1, インド 1, チリ 1, メキシコ 1)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーディオ・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (V, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

・非常勤講師手当の学内配分を要求中。

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

・留学生はユネスコ国内委 (四国地区) 主催の日本語弁論大会 (8.57) に参加。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・学生部主管で補習として開設。留学生以外への参加は御遠慮願っている。

1. 留学生総数: 42 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 2

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 1 (アメリカ)

(4) 教員研修留学生 14 (タイ、インドネシア、ブルマ、マレーシア、メキシコ、フィリピン)

(5) 道庁研修教育留学生 ()

(6) 聴講生 1 (アメリカ)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

9	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
9	スライドプロジェクター		テレビ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
9	テープレコーダー (オープン、カセット)	9	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
9	テレビ	9	タイプライター (邦文、英文)
9	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)	0	ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
9	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任講師が必要
- ・視聴覚教材の開発

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・中部英語教育学会、全国英語教育学会、静岡大学研究報告、日本語教育学会などに発表。
- ・留学生は、教員研修留学生のたまごジャーナル CIFTレポート (3月発行予定) や静岡大学便りに作文を掲載。スピーチコンテストなどにも応募。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・18ヶ月の留学期間中、第1期から日本語・日本文化事情・専門を学べカリキュラムを編成。
留学生のコミュニケーション能力を高めるために、積極的に日本人と話さなければならぬような工夫をしている。
- ・課外活動 - フィールドトリップ (学校見学・工場見学)、General Course (日本文化事情と日本の教育)

1. 留学生総数: 12人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 2人 (松本泰忠・松本泰丈)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 /

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 12人 (中国6, 台湾3, タイ1, マレーシア1, オーストラリア1)

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学指導教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
	テレビ	○	タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

○ 少数教育が可能となる専任教員の確保

○ 留学生数の増加を安易にめざすのではなく、画一的な留学生教育を全般的にすすめるのが感じている。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

○ 朗読テープ (『雨の日文庫』所収の小説・物語) を作成。朗読テープの継続と留学生のレポートをもとにした対照文法 (的) 教材作成を予定。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・もっぱら学部留学生への日本語教育をうけおい、まとまりのいいクラスを形成している。

1. 留学生総数: 16人 大学院1人含む

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 8 (タイ2、シンガポール2、インドネシア2、フィリピン1、韓国1)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文、英文)
○	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・現在、教員研修留学生の他に他学部の留学生が受講しているため、担当教官の負担が大きい。(本部教務係で検討中)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・専門に力ける語彙等習得のための段階的指導教材の作成を予定。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(4)	日本語講義Ⅰ*	2		(c)	14	前期-『日本語初歩』	—	↑
"	"Ⅱ	"	"	"	"	『An Introduction to Modern Japanese』↑	—	↑
"	日本語演習Ⅰ*	"	"	"	"	口頭表現による初級文型の運用と初級	—	↑
"	"Ⅱ	"	"	"	"	レベルの漢字の読み書き	—	↑
	(※は前期のみ)					後期-『Intensive Spoken Japanese-Book4.中級1』		
						ビデオ(テレビ番組)		
						中級文の読解と討論形式による		
						テキストの題材を中心に意見発表		
						状況に応じ、録画放送生の題材に附る。		
						中級レベルの漢字の読み書き。		
					*	14名中6名は他学部からの聴講生		
						(韓国2、メキシコ1、台湾1、タイ1、エチオピア1)		

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・媒介語を使用せずに、行っている。
- ・毎回学生にスピーチを課し、口頭表現に時間を費やしている。

1. 留学生総数: 420人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 4人 (寺村秀夫・草薙裕・佐々間まゆみ・堀口純子)
 (b) 兼任 2 (茅賀純・相原林司)
 (c) 非常勤 4
 (d) その他 2

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 0人 ()
 (2) 研究留学生 145 (台湾34・韓国33・中国24・アメリカ12・香港7・フィリピン6・タイ5・
 インドネシア3・マレーシア3・カタール2・オーストラリア2・その他)
 (3) 日本語・日本文化 コース留学生 2 (韓国2)
 (4) 教員研修留学生 8 (インドネシア3・タイ2・マレーシア2・中国1)
 (5) 進学準備教育留学生 0 ()
 (6) 聴講生 2 ()
 (7) 帰国子女 受け入れているが、特に日本語教育は行っていない

4. 施設・設備

☐ オーバーヘッドプロジェクター	☐ テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
☐ スライドプロジェクター	☐ テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
☐ レコードプレイヤー	☐ ビデオ編集装置
☐ テープレコーダー(オーアン・カセット)	☐ ランゲージラボラトリー
☐ 映写機(8ミリ・16ミリ)	☐ 録音室
☐ テレビ	☐ タイプライター(邦文・英文)
☐ ビデオテープレコーダー(V・VHS・ベータマックス)	☐ ワードプロセッサ
☐ ビデオカメラ	☐ パソコン(マイコン)
☐ ポータブルビデオ	その他

5. 今後の整備計画についての希望

人員要求-専任10名が第一目標

専門別クラス編成

一クラスの学生数の減少(中級クラスを15名以下に)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

・『日本語表現文型 中級Ⅰ・Ⅱ』(イセテ出版) 『まよにほんごかいわⅠ・Ⅱ』及び録音テープ教材(作成中)

・日本語教育学会・国語学会・言語学会等で発表。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(2)	日本語中級(1)	4.5	3	佐久間	40	新聞・論説、『国語表現』・VTR教材	—	VTR オーディオ
	“ (2)	3	2	草薙・堀口	40	『日本語表現文型』	—	—
	日本語文法演習	1.5	1	寺村	15	『日本語文法教本(3)』	—	—
	日本語読解(中)	1.5	1	草薙	22	小説・随筆・論文などを読み連読	—	—
	“ (上)	1.5	1	寺村・堀口	36	『知的創造のヒント』『数学の話』	—	—
	日本語作文(中)	1.5	1	相原				
	“ (上)	1.5	1	相原				
	日本語聴取演習	1.5	1	佐久間	22	VTR・ニュース(ラジオ・テレビ)	—	VTR オーディオ
	日本語会話(中)	1.5				(本年度開講せず)		
	“ (上)	1.5	1	草薙	12	専門領域における会話の訓練	—	—
	日本語専門講義(1)	1.5				(本年度開講せず)		
	“ (2)	1.5	1	茅賀		『現代作文講座・I』	—	—
	日本語文法	1.5	1	寺村・堀口	7	『日本語の文法(下)』	—	—
	日本語 B	補	10		15	『日本語の基礎Ⅱ』 文型練習・会話	—	
	C	補	10		35	『日本語表現文型Ⅰ・Ⅱ』 “ “	—	
	D		2		35	短篇小説	—	
(4)	日本語 A		9	佐久間他	8	『日本語の基礎Ⅰ』 問答法による文型練習他		VTR オーディオ
			(122=75分)					

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等

- ・専門養成(院レベル)のプログラム、大学院の外国語と2つの日本語、一般留学生に対する初～中級日本語を統一的に行っていること。
- ・留学生教育センターの運営委員会に各学類(学部)、研究科の代表が参加しているなど、連携が強化されてきたと思う。

1. 留学生総数: 41人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 6

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 25 (タイ 9, スリランカ 8, フィリピン 2, 香港 1, パキスタン 1, イギリス 1, メキシコ 1, 西独 1, 台湾 1)

(3) 日本語・文化コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

0	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
0	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー	0	ビデオ編集装置
0	テープレコーダー (オープン・カセット)		ランゲージラボラトリー
0	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
0	テレビ	0	タイプライター (邦文・英文)
0	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	0	ワードプロセッサ
0	ビデオカメラ	0	パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- 学生は専門の研究のために来学しているのであるから、時間的負担をかけずに、効果的に日常の会話を付け、しかも日本事情を折り込み、楽しい雰囲気の中で勉強できるような方向で計画を立てたい。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- 『日本語教育』51号に発表。

- 留学生については年1回スピーチの会を開催。作文集の作成を計画。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・専門を英語・行政学などにし、日本語教育は生活的なものに限ったこと。
- ・6か月集中して基礎的な会話を学び、その後も希望に応じて教育とする体制にあること。
- ・少人数制(4~8人)、複数指導者によるローテーション指導
- ・学生のくつろぎの場になっていること。

1. 留学生総数: 165 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 8 人 (阪田雪子・尾野素一・窪田富男・国松昭・小杉商一・満本昭南・佐々岡勝彦)
 (b) 兼任 ()
 (c) 非常勤 2
 (d) その他 4

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 59 人 (台湾 3 中国 8 韓国 7 マレーシア 3 香港 1 ス페인 1 無国籍 1)
 ニュージーランド 1, オーストラリア 1 フランス 1, ブラジル 1 アルゼンチン 1
 (2) 研究留学生 19 (ベトナム 5 台湾 3 ニュージーランド 2 アメリカ 1 モンゴル 1 フランス 1)
 オーストラリア 1 韓国 1 タイ 1 スウェーデン 1 インド 1 中国 1
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 2 (フランス 1 ニュージーランド 1)
 (4) 教員研修留学生 2 (韓国 2)
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 1 (西ドイツ 1)
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・アン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

- ・読解教材 - 「短篇小説 (-)」「同 (二)」「評論・随筆 (-)」「同 (二)」, 他。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)1年	読解 I	4	4	阪田雪子	27	『評論・随筆(一)』東外大編		
"	" II	2	2	尾野寿一	27	千石保『日本人の人間観』		
"	" III	2	2	(C)	27	『短編小説(一)』東外大編		
"	聴解 I	2	2	尾野寿一	27	自主教材 慣用表現中心		
"	" II	2	2	佐久間勝彦	27	自主教材 放送録音・録画 その他		LL ビデオ レコーダ 他
"	発音 A	12	2	佐久間勝彦	14	『省声と音声教育』・自主教材		
"	" B	2	2	佐久間勝彦	13	『省声と音声教育』・自主教材		
"	表現 A	12	2	湯元昭南	14	自主教材・課題作文中心		
"	" B	2	2	小杉商一	13	自主教材・文章表現法中心		
"	文法	2	2	小杉商一	27	自主教材 おまへ『簡明口語文法』		
(1)2年	読解 I	4	4	窪田富男	32	『短編小説(二)』東外大編		
"	" II	2	2	島蘭進	32	中野千枝『家族を中心とした人間関係』		
"	" III	2	2	(C)	32	『評論・随筆(二)』東外大編		
"	表現 A	12	2	佐久間勝彦	16	自主教材・新聞・雑誌・テレビドラマ・脚本他		
"	" B	2	2	佐久間勝彦	16	自主教材・新聞・雑誌・テレビドラマ・脚本他		
"	文法	2	2	湯本昭南	32	自主教材・『日本語文法形態論』		
(1)1年	日本地理基礎							
"	日本文学基礎 I							
(1)2年	日本語学基礎							
"	日本文学基礎 II							
"	日本史基礎							
"	古文基礎							
2・3・4	Aコース(日)	補	2	(C)	23	『Japanese for Today』		
"	Bコース(日)	"	2	(C)	23	『Integrated Spoken Japanese』		
"	Aコース(英)	"	2	(C)	23	『Japanese for Today』		留学生委員会 主催
"	Bコース(英)	"	2	(C)	23	加藤香俊『日本人の周辺』		
"	Aコース(金)	"	2	(C)	23	『Japanese for Today』		
"	Bコース(金)	"	2	(C)	23	『Intensive Course in Japanese』		
		(6ヵ月)						

8. 日本語教育に関する特修・課外活動等。

1. 留学生総数: 57 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 15 人 (天野順子・伊藤芳昭・大木隆二・加藤弘・河原崎幹夫・小林幸江・五味政信・
 (b) 兼任 (北原正隆・名和日真・藤・毎日・重子・姫野喜子・木岡弘・吉岡 幸・吉川 武時・高橋 時)
 (c) 非常勤 3
 (d) その他 1

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 人 ()
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・日本文化 コース留学生 19 (中国 5 韓国 3 タイ 2 アメリカ 2 ブラジル 2 香港 1 カタール 1
 インド 1 モンゴル 1 オーストラリア 1)
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 38 (タイ 9 マレーシア 9 シンガポール 8 フィリピン 4 オーストラリア 2 モンゴル 2
 モンゴル 2 パプア ニュギニア 1 アルゼンチン 1)
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレビ装置=映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー	○	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ・16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (V・VHS・ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	○	パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ	その他	実物投影機・高速音声プリンター

5. 今後の整備計画についての希望

- 教材開発関係教員 社会科学関係教員の充実
- 受け入れ学生の多様化に伴う教育内容・教材等の整備
- 視聴覚教材・コンピュータ利用の個人学習システムの開発→視聴覚総合センターの建設
- 外国人日本語教員の訓練と養成

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- 『日本語Ⅰ』『日本語Ⅱ』『日本語Ⅲ』及び漢字教材・練習帳等『中国人の日本語』『中国人の日本語』
- 『中国人(理科学)学生のための日本語(一)試用版』『同(二)』同語彙集・発音教材・練習帳(いずれも試用版)
- 『日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』の全面改訂試用版作成中(Ⅰ-S.60.4 Ⅱ-S.61.9 Ⅲ-S.62.1 使用開始予定)
- 『日本語学校論集』(東外大附属日本語学校)『日本語教育』に発表。
留学生は、学内の暗誦大会や弁論大会などで学習の成果を発表。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	録画設備	使用設備
(5)	日本事情		2 19	高橋 隆	38	日本の地理 同スライド、日本歴史の年表・同スライド その他 自主教材		スライド
(3)	読解指導Gクラス		6	豊田 豊子	9	自主教材		
	Hクラス		4	大木 隆二	10	小説・詩集		
	聴解指導Gクラス		4	吉岡 英幸	9	ニュース・講演・ドラマ等のラジオ・VTR		VTR、 テープレコーダー
	Hクラス		4	吉岡 英幸	10	ラジオ・VTR 教材		VTR、 テープレコーダー
	口頭表現指導G		2	河原崎 幹夫	9	各種場面における口頭表現 技能の養成		
	H		2	河原崎 幹夫	10	口頭表現 技能の養成とこの指導法		
	日本語の音声	33 回	2	河原崎 幹夫	19	日本語の音声についての知識の習得と発音矯正		
	日本語の文法		2	(C)・豊田 豊子	19	漢字の読み書き能力の養成		
	日本語概説		2	伊藤 芳昭	19	各時代の主な文献を通し 現代日本語の歴史的育足と理解を促す		
	日本語教授法		2	(C)・大木 隆二	19	日本語教授法の理論と教材作成などの演習		
	日本史		2	(C)	19	社会経済史・文化史とありながら政治史を中心に日本史		
	現代日本社会		2	(C)	19	日本人の民族性・日本社会の特性など		
	現代日本文学	18回	2	(C)	19	明治・大正・昭和の代表的作家・作品の解説・分析		
	古典文法	15回	2	(C)	19	代表的古典から文法的諸問題をとり上げ解説		
(5)	日本語(導入)		14	(A)	38	日本語I、同練習帳 同新漢字教材		
	日本語(練習)	12 回	12	(A/C)	38	同新漢字教材 同練習帳 日本語の読み・日本語の書き		
	日本語(聴解)		4	(A)	38	日本語I 録音教材、日本語教育映画		LL, VTR
	日本語(作文)		2	(A/C)	38	主教材に合わせた作文指導		
	日本語(導入)		12	(A)	38	日本語II・同練習帳・同漢字教材 日本語III		
	日本語(練習)	27 回	6	(A/C)	38			
	日本語(聴解)		4	(A)	38			
	日本語(作文)		2	(A/C)	38			
・ 38名 6クラスに分けて 文科系3クラスは 左上の時数通り 理科系3クラスは(導入)が 2時間ずつ減30分 合計30時間 あまりは 22時間となる。								

8. 日本語教育に関する特例・課外活動等。

- ・有機的かつ体系的なカリキュラムに基いた語学教育を行う。定員60名(国費留学生のみ)。
- ・学部留学生一括法による。大学の講義が理解できる程度までの日本語集中教育(1年)。クラスは平均7.8人。
全寮制。放課後も有効な語学学習が可能にFFに設備。教官の配置が考慮されている。
- ・日研生・専門によつては東外大の講義も聴講可。
- ・課外活動一スポーツ大会、ハイキング、学術大会他 各種見学・鑑賞。

1. 留学生総数: 269 人 (大学院生を含む)

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 2

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 98 (中国31 韓国20, 台湾12, タイ4, ベトナム2, インド4, インドネシア3)

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 (アフリカ3, ネパール2, スリランカ2, イギリス2, パル2, グリニャ1, ガウ1, イラン1)

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 道学予備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・ア・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ	その他	光ケーブル情報教室

5. 今後の整備計画についての希望

- ・留学生関係担当事務職員の増員 (現在2名) 日本語の専任教員の配置を希望。
- ・科学論文に多く用いられる文型・語彙を集めた中級以上の教科書、VTR教材 (科学番組、高校用物理・化学の教育番組) 理工系学生の日本語論文作成に必要な手引書の作成を希望。 (現在は非常勤であるため、研究費の予算等とれず、大々的な教材作成計画がでない)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・『日本語教育』に発表。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 週	担当・教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介言語	使用設備
(2)	日本語初級Ⅰ	補	6	(C)		外国 学生用日本語教科書 初級 (厚紙版)	英語	テ-プ
"	" Ⅱ	補	3	(C)		外国 学生用日本語教科書 初級 "Easy Japanese"	英語	テ-プ
"	日本語中級 A	補	3	(C)		Basic Japanese A Review Text	英語	テ-プ
"	" B	補	3	(C)		外国 学生用日本語教科書 中級 Basic Japanese A Review Text		テ-プ
"	日本語上級ⅠA	補	3	(C)		Integrated Spoken Japanese vol. I		テ-プ
"	" ⅠB	補	3	(C)		Integrated Spoken Japanese vol. I Modern Japanese for University Students III		テ-プ
"	" Ⅱ	補	3	(C)		Integrated Spoken Japanese vol. I (以上 1年間) 高等学校現代国語及び単行本、入試問題集等		テ-プ VTR
						* Aは非漢字圏、B及び上級Ⅱは漢字圏学習者対象		

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・受講者はすべて理工系研究生（うち半数以上は大学院入学者希望）。

研究家としての生活時間が長いことを考慮し、読解能力(一般の書読破通・セミ発表等)を重視すると共に、中級以上では科学論文の読解能力、上級では論文作成能力を養うことを目指している。

1. 留学生総数： 7 人

2. 日本語教育担当教官：

(a) 専任 1 人 ()

(b) 兼任 5 (石井貞修・松本薫・石塚雅弘・渡邊福貴・本宮直仁)

(c) 非常勤

(d) その他 1

3. 日本語科目授課学生数： 0

(1) 学部留学生 1 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター	○	テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
	テープレコーダー (オー・アン、カセット)		ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文、英文)
	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本諸教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数: 46 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 (青木 栄一)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤

(d) その他 /

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 7 人 (中国 3, 中国(台湾) 3, マレーシア 1)

(2) 研究留学生 1 人 (韓国 1)

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

・1人1名1名の教官増。

・学部学生・院生・研究生全体の能力別クラス編成 (初・中級と上級) を希望。

— 現在、正規の日本語授業が行われていない院生・研究生にも学習の機会を与えたい。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数: 195人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1人 (原土洋)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1人

(d) その他 1人

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 21人 (中国 8, 韓国 3, 台湾 3, ブラジル 2, マレーシア 2, ニュージーランド 1, ポーランド 1, パキスタン 1)

(2) 研究留学生 28人 (韓国 5, 中国 5, タイ 3, フィリピン 2, インドネシア 2, フランス 2, 米 2, 台湾 1, ブラジル 1, カナダ 1, イラン 1, イラク 1, ナミビア 1, エジプト 1)

(3) 日本語・日本文化コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 6人 (韓国 3, 中国 2, ボリビア 1)

(5) 道学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 6人 (韓国 6)

(7) 帰国子女 ()

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・ア・ン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ・16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	○	パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

・日本語教官1, 2名, 日本事情も担当する教官1名希望。

・新制による読解力養成, テレビによる視聴力養成, ワークショップによる書記能力養成を目指す (5, 59から本格的に取り組む)。コンピュータによる構文・文法演習の計画も考慮中。

・遠い将来の目標としては, 教養部から独立した全学向け日本語センターの設立。

6. 作成教科書, 日本語教育における成果等。

・「テレビ視聴のための日本語教本」「外国人留学生のための日本語ワークショップ教本」「東北大学選定製錬研究所用日本語教科書」を制作中。「東北大学日本語教科書 (初級)」「日本事情入門」を制作予定。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)(2)	日本語 I	4	4	原土 (C)	32	(上級以上)新聞・テレビを教材として読む能力。 テレビ視聴能力増進に重点。 [受講資格として「日本語Ⅱ」東大卒程度以上の 日本語能力を要求]	—	複写器 テレビ ビデオ テレビダー
"	日本語 II	4	4	原土 (C)	32	同上。(但し、Iより程度は高い)	—	"
"	日本語 I	補	50/100分	原土	2	日本語ワードプロセッサに慣れ、日本語でレポート・論文を 書く能力養成の基礎訓練。(日本語Ⅰの受講者対象 日本語Ⅱで仕上げ訓練予定)	—	日本語 ワード プロセッ
(1)(2)	日本事情 I	4	2	原土	17	日本地理・歴史の概要と神話・伝説・文化史上の 伝承的事実と現代日本語表現に頻繁に引用 される文学作品等の紹介・講義。	—	ビデオ テレビ
(4)	選鉱製錬研究所 外国人研究生等に対する 日本語指導(上級)	補 (4単位)	4	原土	7	『INTEGRATED SPOKEN JAPANESE』を教材と して演習。	—	テレビダー
(4)	" (初級)	補 (4単位)	6	(C)	5	『AN INTRODUCTION TO MODERN JAPANESE』(杉谷) を教科書とする授業。	英語	テレビダー

8. 日本語教育に関する特修・課外活動等。

- ・『日本語Ⅱ』SEIL「同Ⅱ」終了程度の留学生に対する日本語教育、新聞読解とテレビ視聴の指導・訓練に
力を入れている。テレビ視聴力を養うために特別な語学訓練を行う。
- ・日本語ワードプロセッサの操作訓練。
- ・課外活動 - 工場・研究所等の見学。

1. 留学生総数: 22 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤

(d) その他 /

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 / 人 (台湾 /)

(2) 研究留学生 2 / (中国 8, ブラジル 3, イラン 2, アメリカ 1, バングラデシュ 1, インド 1, マルタ 1, 北エチオピア 1, インドネシア 1, 韓国 1, メキシコ 1)

(3) 日本語・日本文化コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

☐ オーバーヘッドプロジェクター	☐ テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
☐ スライドプロジェクター	☐ テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
☐ レコードプレイヤー	☐ ビデオ編集装置
☐ テープレコーダー (オープン・カセット)	☐ ランゲージラボラトリー
☐ 映写機 (8ミリ・16ミリ)	☐ 録音室
☐ テレビ	☐ タイプライター (和文・英文)
☐ ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	☐ ワードプロセッサ
☐ ビデオカメラ	☐ パソコン (マイコン)
☐ ポータブルビデオ	

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任1名、教務職員又は技官 (CAI機器の開発)
- ・CAIによる日本語教育用施設を開発・整備し、学習機器として活用し、ソフトの開発に努める。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・自然科学系の語句・語法を集めた実用的な手引書の作成を希望。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・ほとんど工科大の院生であることから、自然科学系の用語や語法を扱ってほしいという希望はよくよくわかる。

1. 留学生総数 : 4 人

2. 日本語教育担当教官 :

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤

(d) その他 4

3. 日本語科目授課学生数 :

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 4 (タイ 2, 韓国 2)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ		タイプライター (邦文, 英文)
	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ	その他	学部全体としては他の施設・設備利用可

5. 今後の整備計画についての希望

- ・専任教員最低1名。
- ・日本語教育に関する専門講座も確立させたい。

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・現在、受講者が少いからといって、マンツーマン教育が可能。

1. 留学生総数: 205 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 3 人 (水谷 修・大坪 一夫・藤原 雅恵)
 (b) 兼任 ()
 (c) 非常勤 15
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 人 ()
 (2) 研究留学生 42 (中国 8, 韓国 5, タイ 5, インド 4, ビルマ 3, タイペン 2, ブラジル 2, アルゼンチン 1, フィリピン 1, ホンコン 1, 香港 1, シンガポール 1, マカオ 1, ベルマ 1, 西ドイツ 1, エジプト 1, フランス 1, コロンビア 1, アーゼン 1, ハンガリー 1)
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 13 (西ドイツ 2, イギリス 2, タイ 2, 香港 1, オーストラリア 1, フランス 1, カナダ 1, インド 1, 韓国 1)
 (4) 教員研修留学生 6 (メキシコ 2, ビルマ 2, タイ 2)
 (5) 進学予備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 6 (米国 3, 中国 2, タイ 1)
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○ オーバーヘッドプロジェクター	○ テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○ スライドプロジェクター	○ テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
○ レコードプレイヤー	○ ビデオ編集装置
○ テープレコーダー (オープン・カセット)	○ ランゲージラボラトリー
○ 映写機 (8ミリ・16ミリ) 32ミリ	○ 録音室
○ テレビ	○ タイプライター (邦文・英文)
○ ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	○ ワードプロセッサ
○ ビデオカメラ	○ パソコン (マイコン)
○ ポータブルビデオ	その他 録画用スタジオ

5. 今後の整備計画についての希望

- ・ 総授業数の50%以上を専任教官で実施したい。現状は80%を非常勤で行っている。
- ・ 留学生受入れの目的にたい、かつ効率の高い教育システム・教育内容を作りあげたい。

6. 作成教材・日本語教育における成果等。

- ・ A Course in Modern Japanese Vols. 1, 2, 附属オーディオテープ, CAIプログラム(富士通 FM8, FM7用), および教員研修留学生用 理科教材・数学教材を作成した。
- ・ A Course in Modern Japanese Vols. 3-7, 専門別読解教材・読解力訓練用マイコンプログラム作成予定。
- ・ 教育成果は日本語教育学会月例発表会, 『日本語教育』, 計量制御学会中部支部教育工学部会教育シンポジウム, 『教育工学論文集』, 『電子通信学会技術研究報告』等に発表している。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 (週)	担当教官	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(2)	日本語 初級 M		4 (修業)					
(2)	" " N		4					
"	" 中級 M		"					
"	" " N		"					
(2)	春季集中コース 2772		24 (8週間)			『A COURSE IN MODERN JAPANESE』 『BASIC JAPANESE — A REVIEW TEXT』 『INTEGRATED SPOKEN JAPANESE』		
	" 1772		8 (8週間)			他		
"	夏季集中コース 3772		24 (8週間)					
(2)	会話 練習		6 (修業12週)		2	同上	—	
"	口頭 練習		12		2		—	
"	専門分野別講義		4		2	自作教材, 専門書のコピーと語彙リスト	—	
"	応用聞とリ		3		2	ラジオニュース, 『AURAL COMPREHENSION PRACTICE IN JAPANESE』	—	テレコグ
(3)	話しとヒト		12			『BASIC JAPANESE — A REVIEW TEXT』 『INTEGRATED SPOKEN JAPANESE』		テレコグ
"	聴 解		3			自作 ビデオテープ / スクリプト		ビデオテープ レコーダー
"	作 文		3			自作 作文教材		OHP
"	読 解		6			自作 読解教材		
(4)	文法事項の コンピューター・練習		3 (修業12週)		2	自作, マイクロコンピューター・プログラム	英語	普通 F17, F18
"	文法事項の口頭練習		6		"	『A COURSE IN MODERN JAPANESE』	"	
"	会話練習		2		"	"	"	
"	応用会話練習		3		"	"	"	
"	聞きとリ		3		"	"	"	テレコグ
"	漢字・読解		6		"	"	"	
						『AN INTRODUCTION TO READING & WRITING JAPANESE』		

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・総合大学への大学制度の中での教育の革新を目指している。
- ・人間的な面と、機械化の面とを明確にし、学習者の習得目標を大切にしている。
- ・成果の評価の尺度と方法、専門分野での留学生指導教官(10大学1000名)と対面し、日本語教育への意見調査を実施した。(1984年3月13日)

1. 留学生総数: 18 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 1 人 ()
 (b) 兼任 3 (内田茂・小谷博泰・竹原威滋)
 (c) 非常勤 1
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 14 人 (台湾 12, 中国 2)
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・国際化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 4 (韓国 1, シンガポール 1, フィリピン 1, アーシア 1)
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・日本語担当専任教官を概算希望したい。
- ・留学生は一般教育外・外国語8単位と日本語必修としたい。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・ 学部私費留学生には専門外教官が課外補講として教之ける。
- ・ 教員研修留学生には専門の非常勤講師が教之ける。

1. 留学生総数: 8 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 人 ()
 (b) 兼任 2 (宮下忠二・廣海孝一)
 (c) 非常勤
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 8 人 (中国 2, 台湾 2, タイ 2, 韓国 1, 香港 1)
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター	○	テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター	○	テレシネ装置=映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー(オー・アン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機(8ミリ・16ミリ)	○	録音室
○	テレビ	○	タイプライター(邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー(V・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	○	パソコン(マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

・専任教員の採用について検討中。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

• 課外活動 - 見學旅行

1. 留学生総数: 71 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 4

(d) その他 0

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 45

(タイ 8, 韓国 5, ブラジル 4, 中国 4, ヲネスイラ 2, イエ 2, ノーナ 2, イボネチ 2, ガンダ 2, ベル 1, イタンカ, マキシコ, マレーシア 1, フランス 1, ナジェリア 1, ガルーン, イギリス 1, フィリピン 1, スリランカ 1, カタ 1, スウェーデン 1, オーストラリア 1, 台湾 1)

(3) 日本語^{国際化}コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学予備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター	テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター	テレビ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	録音室
	テレビ	タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ	

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

7. 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	録音誌	使用設備
(2)	クラス A	補	3	(C)	17	○ 自主教材 (基本的文法事項の再整理と練習・漢字教材・話し方教材 等) ○ 新聞読解 (易しいもの) ○ 国所の VTR 教材	—	VTR
(2)	クラス B	補	3	(C)	15	○ 新聞記事 他を利用して聴解・読解の練習 (前期) ○ ^P Intensive Course in Japanese (Intermediate) (後期)	—	
(2)	クラス C	補	3	(C) ^{2人} 隔週	13	○ VTR カセットテープを使用して聴解練習を主とする授業。 (VTR 教材は基金東大附属のもの) - カセットテープは自主作成教材	—	VTR ラジオ・カセット
						* A - 初級・基礎日本語クラス - B - 中級・漢字・読解クラス (非漢字系) - C - “ - 聴解クラス (漢字系)		

8. 日本語教育に関する特修教、課外活動等。

- ・ 近隣の大学 (東京学芸大・東京農工大・電気通信大・中央大・日本女子大) に在籍する外国人留学生を対象として行った日本語課外補講。(S. 57 年度は前期・後期 各 13 回)
- ・ 各日本語教育機関において一定期間の教育を受けた留学生の中で、なお勉学や研究に支障をきたすものについてアフターケアを行う。

1. 留学生総数: 17 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 ()

(b) 兼任 4 (西村 清乙, 高梨 庸雄, 奥野 忠徳, 小倉 肇)

(c) 非常勤

(d) その他 1

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 1 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 2 (アメリカ 2)

(4) 教員研修留学生 4 (インドネシア 2, タイ 1, マレーシア 1)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 2 (アメリカ 1, ブラジル 1)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

0	オーバーヘッドプロジェクター	0	テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
0	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
0	レコードプレイヤー	0	ビデオ編集装置
0	テープレコーダー (オーアン, カセット)	0	ランゲージラボラトリー
0	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	0	録音室
0	テレビ	0	タイプライター (邦文, 英文)
0	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)	0	ワードプロセッサ
0	ビデオカメラ	0	パソコン (マイコン)
0	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材, 日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(3) (4)	初級・入門期 話し方・聞き方	1 (30分)	高梨	8	1 日常会話の練習 『あたらしい日本語』(学研)	英語		
"	初級・入門期 文法	1 (30分)	奥野	"	1 講義・演習 『日本語の通問』(大学書林)	"		
"	初級・入門期 読み方・書き方	1 (30分)	小倉	6	1 漢字、かな交り文の読み方・書き方の練習 『改訂 小学校国語』(教出)	一		
"	初級 読み方・聞き方	2 (30分)	西村	4	1 漢字を中心とした日本語文化について 講師作成のプリント	英語		
"	中級 話し方・聞き方	1.5 (30分)	高梨	6	1 多様なスタイル文について聞き方、話し方の練習 『新しい日本語』『Beginning Japanese』(外大)	"		
"	中級・文法	1.5 (30分)	奥野	2	1 講義・練習 『日本語の通問』	"		

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数 : 180 人

2. 日本語教育担当教官 :

- (a) 専任 3 人 (奥田邦男・小脇光男・金本節子)
 (b) 兼任 5 (大槻和夫・森野繁夫・佐藤邦生・江端義夫・松本憲尚)
 (c) 非常勤 6
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数 :

- (1) 学部留学生 5 人 (中国 3, マレーシア 2)
 (2) 研究留学生 64 (中国 17, 台湾 12, インドネシア 8, タイ 3, アメリカ 3, ブラジル 3, 韓国 3, パキスタン 3, スリランカ 2, 西ドイツ 2, インド 2, スリネー 1, シンガポール 1, カタール 1, コーコス諸島 1, パルー 1, フィジー 1)
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 1 (イギリス 1)
 (4) 教員研修留学生 18 (タイ 5, メキシコ 3, インドネシア 2, マレーシア 2, 韓国 2, 中国 2, ビルマ 1, シン 1)
 (5) 進学予備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター	テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター	テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー	ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オープン・カセット)	○ ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)	録音室
○	テレビ	○ タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U, VHS, ベータマックス)	ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ	その他 実物投影機・電子漢字辞典

5. 今後の整備計画についての希望

- ・日本語・日本事情担当の専任教官 2, 3 名増。
- ・学部レベルから博士課程までの日本語教育専攻カリキュラムの整備。日本語教育学・日本語教育内容学 2 講座 (教授・助教授・助) の設置が望ましい。
- ・国際交流センターにおける日本語教育の実施 (一般留学生のための日本語教育)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・ITR教材 (テレビドラマ・NHK「ウルトラマイ」などを文字化) の作成
- ・「広島大学教育学部紀要」「中国回国教育学会紀要」「国語教育研究」(広大国際教育学会)「日本語教育」
- ・留学生は 5, 53 人現在で「留学生による日本語スピーチコンテスト」(広島国際文化財団主催)に参加。

1. 留学生総数: 2 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 1 (渡辺 義夫)

(c) 非常勤

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 2 (ブラジル 2)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーディオ・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

・現代日本語における漢字の事態に即した体系的漢字学習マニュアルを作成予定。

7 日本語教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・ 教官の個人的な協力により進んでいる。
- ・ 対象が日系人なので主として漢字・漢語にしろった読解力の教育である。

1. 留学生総数: 149 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 (村崎 恭子)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 8

(d) その他 4

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生

人 ()

(2) 研究留学生

9

(ブラジル 2, エジプト 1, イラン 1, イギリス 1, アイスランド 1, アイルランド 1, アメリカ 1, スペイン 1)

(3) 日本語・日本文化コース留学生

9

(アメリカ 3, スイス 2, イギリス 1, イタリア 1, ドイツ 1, オーストラリア 1)

(4) 教員研修留学生

()

(5) 進学予備教育留学生

()

(6) 聴講生

1

(ユーゴ 1)

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

9	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
0	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
9	テープレコーダー (オープン・カセット)		ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
0	テレビ	0	タイプライター (邦文・英文)
0	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)	0	ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

・日本語・日本文化の大学院開設予定あり。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

・「基礎日本語」(初級、6ヵ月用、24課)作成予定。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・欧米系の学生が多いので、初めの段階で英語を上手に使った日本語教育を開発中。
- ・課外活動－見学・研修旅行・スピーチ大会

1. 留学生総数: 4 人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 人 ()
 (b) 兼任 8 (松本宙・加藤豊仁・島森哲男・新長馨・宮川建郎・成沢義雄・渡江慎晴)
 (c) 非常勤 西林克彦
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

- (1) 学部留学生 4 人 (アメリカ 4)
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語専攻コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーブン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
○	テレビ		タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・本学では留学生を研究生として受け入れているため、正規の日本語教育はなく、補講の形で行われている。

1. 留学生総数 : 7 人

2. 日本語教育担当教官 :

- (a) 専任 1 人 ()
 (b) 兼任 2 (寺田 昭夫 橋本 邦彦)
 (c) 非常勤
 (d) その他

3. 日本語科目授課学生数 :

- (1) 学部留学生 6 人 (中国 6)
 (2) 研究留学生 3 (中国 3)
 (3) 日本語専攻文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学指導教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・アン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
	テレビ		タイプライター (邦文、英文)
	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- 専任教員 1 名希望
- 日本語授業科目を正規の科目として開設したい。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・日常生活及び研究・授業等が円滑に進むように、日常会話に力点を置いている。

1. 留学生総数: 115 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 (志賀一清)

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1

(d) その他 4

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 15 人 (台湾 5, 香港 2, マレーシア 2, 中国 2, スペイン 1, ポルトガル 1, オーストラリア 1, タイ 1)

(2) 研究留学生 4 (タイ 1, 中国 1, アルゼンチン 1, カナダ 1)

(3) 日本語・国際化コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 17 (韓国 4, タイ 4, シンガポール 2, スペイン 2, 中国 2, マレーシア 2, インドネシア 1)

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 2 (アメリカ 2)

(7) 帰国子女 受入れの予定あり

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター	○	テロップ装置=ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター	○	テレビ装置=映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オー・アン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ	その他	電子漢字辞典・音声電子計算機

5. 今後の整備計画についての希望

- ・教員研修コース用の何らかの継続的予算措置を希望。(現在は大部命・外部の人にお頼みしている)
- ・他学部との調整に力を入れ効率的な時間割編成。
- ・正規外の学生の能力に合わせた授業の開設(補講2コマ程度)

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・意味の難しさを困難な熟語表及びその練習問題、漢字学習テキスト及び練習問題(英語国民用) 当用(常用を含む)漢字を使用した中級読物、文章表現の形式練習問題及び関連ビデオ教材。
- ・力能率の「文型学習」とはどんなものか。現在の教材を改良していく予定。
- ・留学生はスピーチ・コンテストなどに参加。

7 日本語教育カリキュラム

対象学生	授業科目名	単位	時間 /週	担当教員	学生数	授業内容(教材を含む)	媒介語	使用設備
(1)(2)(6)	日本語Ⅰ(文法)	2	1.5	志賀	14	書き言葉の文型(表現)を主として説明及び演習	—	
"	日本語Ⅰ(読解)	2	1.5	"	"	論説文中心		
"	日本語Ⅱ(文法)	2	1.5	"	12	一学年以後の部分の練習		
"	日本語Ⅱ(読解)	2	1.5	"	"	論説文、短編小説等		
(1)(2)	日本事情	2	1.5	(C)	15	教員作製の教材(日常生活に身近なものを取り上げる)		
(4)	教員研修留学生 プログラム	平均 9 (12ヶ月)		志賀 (d) 4人	8	『日本語の基礎』『日本紹介』(海外技術者研修協会) 『Japanese for Today』 『日本語Ⅰ』『漢字教材』(東外大) 『日本事情シリーズ』 又随時、VIDEOシリーズ(文化庁・国語研)		TVR OHP etc
(4)	教員研修留学生 プログラム	平均 9 (12ヶ月)		志賀 (d) 4人	9	同上		TVR OHP etc
(6)	日本語補講	補	1.5	志賀	2	漢字教育(自作教材…「音」EPIに漢字分類を 加えた)		etc

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・社会や家庭生活のT+を教官の目で指導。

1. 留学生総数: 38 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 1 人 ()

(b) 兼任 2 (安井 祐一 宮城 悦二郎)

(c) 非常勤 3

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数:

(1) 学部留学生 15 人 (中国 7, ブラジル 3, 韓国 3, アメリカ 1, タイ 1)

(2) 研究留学生 6 (中国 4, イギリス 1, フィリピン 1)

(3) 日本語・日文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 17 (ブラジル 5, アメリカ 3, ボリビア 3, アルゼンチン 2, ペルー 2, フィリピン 1, カナダ 1)

(7) 帰国子女 受入れるべきであるが、手がまわらない

4. 施設・設備

○ オーバーヘッドプロジェクター	テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○ スライドプロジェクター	テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
レコードプレイヤー	ビデオ編集装置
○ テープレコーダー (オープン、カセット)	ランゲージラボラトリー
○ 映写機 (8ミリ、16ミリ)	録音室
○ テレビ	○ タイプライター (邦文、英文、その他)
○ ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)	ワードプロセッサ
○ ビデオカメラ	パソコン (マイコン)
ポータブルビデオ	

5. 今後の整備計画についての希望

- ・日本語教授 1 名、日本事情 1 名希望。(日本語教育に留学生に熱意のある者を 1 名条件とすべきである。)
- ・学士号・修士号まで与えられる「外国語としての日本語科」の設置。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

- ・外国人対象の「沖縄県事情」を作成予定。

7 日本語教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

- ・沖縄県は 20 万余の県人同胞が海外に在住。県内には数万人の外国人が滞在もしくは永住。隣国が台湾、フィリピンという関係上、沖縄と縁のある人や子弟が留学するいう特徴がある。更に、琉大には医学、熱帯農業、海洋学科があるので、この分野を目指して来県するものもある。
- ・市内の各種催し案内。

1. 留学生総数: 2人

2. 日本語教育担当教官:

- (a) 専任 1人 ()
 (b) 兼任 3 (角井 宏・江口 保・吉川 邦三)
 (c) 非常勤
 (d) その他 3

3. 日本語科目授課学生数: ※ 中国 2人

- (1) 学部留学生 1人 ()
 (2) 研究留学生 ()
 (3) 日本語・日本文化コース留学生 ()
 (4) 教員研修留学生 ()
 (5) 進学準備教育留学生 ()
 (6) 聴講生 ()
 (7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
	スライドプロジェクター		テレビ装置 = 映画→ビデオ変換装置
	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーアン・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
	映写機 (8ミリ・16ミリ)		録音室
	テレビ	○	タイプライター (邦文・英文)
○	ビデオテープレコーダー (U・VHS・ベータマックス)		ワードプロセッサ
	ビデオカメラ	○	パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

- ・日本語教育専門教室の配置

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

[illegible]

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

1. 留学生総数: 2 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 1 (五十嵐 譲介)

(c) 非常勤

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数: * 中国 1, インドネシア 1

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・異文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画 → ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーディオ・カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ, 16ミリ)		録音室
○	テレビ	○	タイプライター (邦文, 英文)
○	ビデオテープレコーダー (V, VHS, ベータマックス)		ワードプロセッサ
○	ビデオカメラ	○	パソコン (マイコン)
○	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

○ 留学生の増加に伴い、教官の増加も。

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本諸教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・少人数なので、より細かい個人指導が可能、(日本語の他、専門学科の指導教官、学生、日本人学生との寮生活等。)

1. 留学生総数: 2 人

2. 日本語教育担当教官:

(a) 専任 人 ()

(b) 兼任 ()

(c) 非常勤 1

(d) その他

3. 日本語科目授課学生数: ※ インドネシア 2

(1) 学部留学生 人 ()

(2) 研究留学生 ()

(3) 日本語・日本文化
コース留学生 ()

(4) 教員研修留学生 ()

(5) 進学準備教育留学生 ()

(6) 聴講生 ()

(7) 帰国子女

4. 施設・設備

○	オーバーヘッドプロジェクター		テロップ装置 = ビデオ文字挿入装置
○	スライドプロジェクター		テレシネ装置 = 映画→ビデオ変換装置
○	レコードプレイヤー		ビデオ編集装置
○	テープレコーダー (オーアン、カセット)	○	ランゲージラボラトリー
○	映写機 (8ミリ、16ミリ)		録音室
	テレビ		タイプライター (邦文、英文)
○	ビデオテープレコーダー (U、VHS、ベータマックス)	○	ワードプロセッサ
	ビデオカメラ		パソコン (マイコン)
	ポータブルビデオ		

5. 今後の整備計画についての希望

6. 作成教材、日本語教育における成果等。

7 日本語教育カリキュラム

8. 日本語教育に関する特徴、課外活動等。

・S.58年9月に開始。現在のところ人数は約20人。個人指導が主であるが、短期間に専門の学習に必要は学力を付けなければならない。

Ⅲ. 調査項目13のまとめ

1. 日本語教育に関して、現状の抱える問題点（とその対策）

教官について

専任教官の欠如。日本語教育に熱意のある非常勤のみで担当。自己負担で教材づくり、サラリーマンの精神ではやっていけない。

専任がいらないため学外講師に依存。しかし謝金が少ない。従って十分な授業時間の設定が不可能。開講可能な授業時間数が年度・学期により不安定。一貫したプログラムづくりの実現困難。専任確保が急務。

受入れ留学生増により授業時間数が多くなり、非常勤への依存率が高くなる。非常勤の教官の場合には日本語教育の統一・継続性がない。非常勤であるため、日本語教育者間の交流の機会がない。

在籍留学生約400 にもかかわらず専任の日本語教官皆無。大学としての国際交流問題に真剣に取り組んでいるのか否か。

専任教官がいらないため専門外教官で担当。従って十分な指導ができない。各教官の職務の負担増。専任教官の必要性。

量・質共に教授陣が充実していない。しかし対策は皆無。一方、学生のレベルは多様である。特に地方では教師を求めることが困難。

日本語教育担当者と専門分野の教育者との協力関係がない。初期教育から専門教育への移行が上手くいっていない。

日本語教育のみではなく、留学生に必要な各専門分野の指導教官の不足。留学生本人

の能力よりも受入れの余裕（枠）があるかどうかが問題である。

県予算の関係で中南米日系留学生を受入れているが、関係教官の個人的な協力・指導で切り抜けている。

学習者について

最低一年の日本語初歩の学習を受験資格の条件としているが、一年生の日本語能力のバラツキが問題。大学に実験実習の実学重視の傾向がある場合、日本語に対する学習意欲がみられない。

留学生受入れ時期（4月、10月、1月、その他）の違いにより正規の前期・後期の授業では途中から受講せざるを得ない。

大学推薦の国費留学生には日本語力ゼロで受入れられ、その後の日本語教育の配慮なしというケースがある。文部省・大学が何故チェックしないのか疑問である。

学部進学コースでは日本語既習者が一人でもいるとクラス編成・時間割が困難。

日研コース（10月～翌9月）が時間割編成上、入学式・修了式などの年間行事の面からも複雑さを増している。大学の授業をとる場合にも後期からで中途半端である。

日本語学や日本語教授法を専門とする研究留学生に日本語のできない者が多すぎる。

特にアジアからの学生の場合、研究について白紙からの指導の必要性がある。

研究生の場合に、英語等を使って研究が中途半端になりがち。対策は？

教育研修留学生の場合

- 専門が英語の場合にも日本語教育を受けねばならない。

- 日本語教育を受けることを知らないで留学した学生がいる場合、学習動機不十分。
- 全教員研修留学生在が1クラスで受講。漢字圏、非漢字圏、初級者、中級者など日本語能力のバラツキ大。
- 4月スタート時に中級レベルに入れないため、日本語学習進度遅れ、生活、講義において要求されるレベルとの差大。

カリキュラムについて

留学生の日本語能力に応じた多面的授業内容が組めない。非漢字圏留学生には集中訓練方式をとりたいが制度上不可能。

外国語の一つとして日本語が開講されているため教養部以外に所属する学生の受講が制限される。対策として、学生の必要に応じた自主教材（テープ付）の貸与などにより独習してもらう窮余の策をとっている。

大学院生・研究生に必要な日本語のコースは学生部による臨時のもののみ。研究留学生の入学時期・入学目的・国・年齢などの多様性により、適切なクラス編成が困難。予算の余裕なし。

国費非漢字圏留学生の場合、日本語能力不足のまま院に進学。大学院課程には正規に日本語の単位をとるカリキュラムなし。研究が円滑に進まず、中途半端に終わるもの多。6か月で国の背景の異なる初心者の日本語を仕上げることに、困難。留学生在が各学部にまたがっているため授業時間・目的を学生に合わせることに、困難。

日本語を6か月～1年学んでも専門の講義・ゼミナール・指導教官との議論には到底ついていけない。専門の内容は英語に切換えて対処している。

日本語のカリキュラムと学部・大学院の授業とが競合する場合、どちらを優先させるか。研究生の場合は問題とならないが正規の学生の場合は問題となる。

現在、留学生に要求している日本語能力は日常生活に必要な「話す・聞く」の能力であり、講義も英語、論文も英語でよいことになっているが、相互理解を深める為には日本語の論文を読み、書く能力を与えるべきである。そのために、日本語の自主教材の充実をはかると共に専任日本語教師の定員要求をしている。

教材・設備について

母語別教材・専門別教材が必要である。中級以上の教材が全面的に貧弱。楽しく読める読解教材の作成が必要。Visual教材を程度の高いものにし、授業に活用する必要がある。教材の収集（ビデオなど）が困難。

研究留学生の場合、平均年齢が30才以上であるため、学部留学生の教科書は不適。研究留学生用 6か月コースの教材編集が必要。非漢字系学習者には 6か月で 350字が精一杯。

東南アジアの学生が多いため、辞書（例えばインドネシア→日、日→インドネシア）の問題多。

辞典不足。専門科目に関する適切な指導書がない。

学生数の増大に対し設備が不十分（控室、教室、事務室）。留学生は定員枠外。従って、留学生教育施設要求の際、積算基準がゼロ。総合大学での日本語教育施設の充実は難。

予算について

日本語教育を補講として行っている。毎年の予算が少ない。長期間の開設、不可能。留学生の増大に伴う予算の増額を望む。教官任用の謝金の確保が困難。予算の内示が遅い。

2. 日本語教育に関して、将来に予測される問題点（とその対策）

教官について

少なくとも修士号をもつ日本語教育の専門家が緊要になる。海外での需要に答え多量の教員を養成しなければならないが、海外での一定期間の勤務を終え、帰国後の就職難が予想される。現地での専門家を留学させ教育することに比重をおく方がよい。

留学生の増大に対処する日本語教育の専門家養成が困難。国内と国外の日本語教育の連携を緊密にする必要がある。

学生部の臨時日本語クラスの講師になる人の確保が困難。留学生数の増大で手がまわりかねる。

カリキュラムについて

学位の要望が高まっている。学位のとれる日本語教育関係カリキュラムが必要。

帰国子女の特別入学制度で入学する日本人学生のための日本語教育カリキュラムが必要となろう。

教員研修生には本人の専門と日本語教育とを関連させるべきである。

地方大学の日本語教育は将来といわず現在既に破綻をきたしているのではないか。政府の抜本的施策をまつ。

日本語教育に対する科学的、学術的研究の促進、日本語教育の専門家の組織的養成が急務。

日本文化・日本事情に関する科目の取組み方はどうするか。

学部・大学院研究生を合わせ 300人近く留学生がいるにもかかわらず、日本語教育として総括する組織がない。留学生センターのようなところで日本語のカリキュラムの編成が必要。

その他

留学生の文部省による強制配置は本人のためにならない。

留学生数の増大に伴い、奨学金の問題を検討する必要がある。

留学生の多様化による環境適応の問題。寒い地方での寮の問題。

3. 日本語担当教官と大学における他部局・本部との関係（関心の有無・協力の有無等）

概してもて余し気味である。定員外の余計な荷物という態度で留学生に対している。

文化講義などを通じ各学部の協力を得ている。

大学側の関心は高まってきている。しかし、日本語担当教官として学内外のあらゆる会議への出席・報告、諸規則の改定・作成等に関与しなければならない。その負担が重い。

日本語の授業を受講しなくとも日本語に慣れるものだと考える教官が多い。

留学生を受入れている教官は特定の人で、そこに負担がかかっている。

留学生の実情にうとい。制度的には学生国際交流委員会があるが、動きはにぶく、個人、個人の理解を深めていかざるを得ないのが現状である。

教官は協力的であるが、事務体制の不備が問題。本部の留学生部、国際主幹、学部の学生係など、方々に分散していて連絡が密でない。

留学生別科の特殊事情に対する理解が得られにくい。